

令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」をバランスよく取り入れたことで、児童の関心が高まり、「児童の主体的に取り組む態度」に関するすべての問題で目標値を上回った。

(2) 課題

- ・「アルファベットの書き（聞く）」の内容では目標値を下回り、大文字及び小文字を正しく書くことに課題が見られた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年	校内平均が、目標値を1.8割上回った。	(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 高学年（学習効果測定は6年生のみ実施）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ALT やデジタル教科書の音声聞く活動を行ったことで、「アルファベットの読み（聞く）」の内容で目標値を上回った。 話す活動の後に、そこで話した文章を罫線に書く活動をしたことで、「アルファベットの書き」の内容では目標値を上回った。	「英作文」の内容では目標値を下回った。書く活動は行っているが、児童自身が伝えたいことを表現する機会が不十分であることに課題が見られた。	5問中5問で目標値を5ポイント下回った。児童が活動を楽しむ様子は見られるが、学習内容に興味や関心をもたせる指導方法に課題が見られた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年（6年生のみ）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話す活動の後に、そこで話した文章を罫線に書く活動を継続して行い、アルファベットを書く力の向上を図る。	・既習内容を踏まえ、児童が伝えたい内容を書く活動を充実させ、短い英作文を書く力を伸ばす。	・「聞くこと」「読むこと」「話すこと[発表]」「話すこと[やり取り]」「書くこと」の活動を行い、様々な内容を通して、外国語に触れられるようにする。

4 重点指導事項

- アルファベットの大文字、小文字を正しく書くために、罫線（4線）を活用した文字指導を継続して行う。
（知識・技能）
- 既習内容を踏まえ、児童が伝えたい内容を書く活動を充実させる。（思考・判断・表現）
- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を、学習時間内にバランスよく取り入れ、外国語に慣れ親しむことができるようにする。（主体的に取り組む態度）